

学校北側 ソメイヨシノの木の伐採について

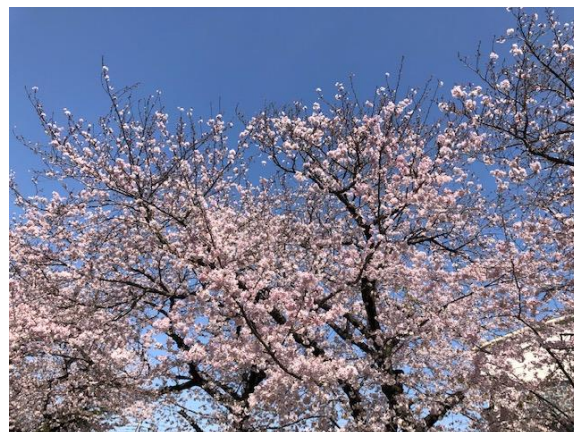
長らく学校と地域の春を彩ってくれていた校地北側のソメイヨシノの木々ですが、幹の空洞化により倒木の危険が増していたため、伐採させていただくこととなりました。

地域の方の話から、昭和20年4月の開校まもなく植えられたものであること、70年以上にわたり富士第二小学校を見守ってくれた木々であることを承っております。しかしながらここ数年は、幹にハチの巣ができて駆除を繰り返したり、枝葉が垂れて折れる危険が増したりしていました。

富士第二小とこの学区の春を彩るシンボリックな木々であることは想像に難くありませんが、今後の風水害時の倒木被害を考え、この度伐採を決断させていただきました。

学校だよりにて、保護者様や地域の皆様にお知らせしたところではありますが、何卒ご理解いただきたくお願い申し上げます。

なお、運動場東側プール前のソメイヨシノは残ります。また校地西側の桜の木も残りますので、卒業や入学の思い出の記念撮影はできるかと思えます。引き続き校地内の環境整備については、安全を最優先に考えて整備してまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



伐採の様子(10月1日土曜日)



浸食された幹部(正門横の桜)



空洞化した幹内のハチの巣